

第116期
中間
報告書

2018 / 12 / Vol.56

株主のみなさまへ

DOWA

証券コード:5714



連結決算ハイライト

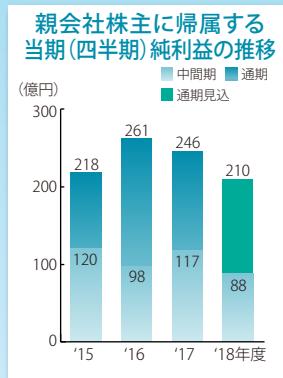
	2015年度 (2016年3月期)	2016年度 (2017年3月期)	2017年度 (2018年3月期)	2018年度見込 (2019年3月期)	2018年度中間期 (2019年3月期中間期)
売上高 (億円)	4,065	4,105	4,547	4,550	2,218
営業利益 (億円)	350	339	309	245	93
経常利益 (億円)	350	365	363	300	128
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (億円)	218	261	246	210	88
総資産 (億円)	3,644	4,046	4,565 ^{※4}	—	4,726
純資産 (億円)	2,033	2,278	2,477	—	2,456
1株当たり当期純利益 ^{※1} (円)	73.75	88.43	417.21	354.82	—
1株当たり配当金 ^{※1} (円)	18	18	90	90	—
1株当たり純資産 ^{※1} (円)	658.66	741.06	4,035.06	—	4,003.41
総資産経常利益率(ROA) ^{※2} (%)	9.4	9.5	8.4 ^{※4}	6.5	—
自己資本当期純利益率(ROE) ^{※3} (%)	11.4	12.6	10.8	8.8	—
設備投資額 (億円)	229	265	246	270	111
減価償却費 (億円)	151	157	172	202	87
有利子負債 (億円)	811	798	1,098	—	1,273

※1 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で株式併合を実施しています。2018年3月期以降の「1株当たり当期純利益」「1株当たり配当金」「1株当たり純資産」は株式併合後の金額です。

※2 ROAは経常利益を期中平均総資産で割って計算しています。

※3 ROEは親会社株主に帰属する当期純利益を期中平均自己資本で割って計算しています。

※4 「税効果会計に係わる会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期については当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっています。



※5 '18年度については中間期実績



2018年度(2019年3月期) 中間期の連結経営成績と 今後の取り組み

代表取締役社長
関口 明

2018年度中間期の連結経営成績

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、2018年度中間期における当社グループの事業の状況と経営成績をご報告申し上げます。

自動車関連製品は好調な自動車生産を背景とした需要が継続しました。電子部品関連製品は、スマートフォン向けを中心に堅調に推移しました。新エネルギー関連製品は、中国向けの需要が減少しました。相場環境については、金属価格は下落局面であったものの、為替相場は概ね110円台前半で安定的に推移しました。

当期は「中期計画2020」の初年度にあたり、「成長市場における事業拡大」と「既存ビジネスでの競争力強化」の基本方針のもと、諸施策を着実に進めています。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比25億円増の2,218億円、営業利益は同53億円減の93億円、経常利益は同44億円減の128億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同28億円減の88億円となりました。

(単位：億円)

	2017年度 上期実績	2018年度上期		増減	
		計画※	実績	前年同期比	計画比
売上高	2,193	2,290	2,218	25	△71
営業利益	146	145	93	△53	△51
経常利益	172	175	128	△44	△46
親会社株主に帰属 する四半期純利益	117	125	88	△28	△36

※2018年5月11日公表値

今後の取り組み

環境・リサイクル部門	廃棄物処理	：低濃度PCB廃棄物の処理量の拡大、廃棄物の処理・再資源化事業の拡大
	土壌浄化	：土壌浄化の受注拡大、国内新規埋め立て処分場の建設推進
	リサイクル	：海外からの製錬部門向けリサイクル原料集荷の拡大
	東南アジア	：インドネシアやタイにおける廃棄物処理施設の新設・拡張、業容の拡充
製錬部門	貴金属銅	：リサイクル原料の処理拡大、すずの増産
	レアメタル	：欧州や北米からのリサイクル原料集荷の拡大、金属回収量の増加
	亜鉛	：不純物対応力強化による年間22万トンの生産体制の確立、亜鉛加工品の増産と東南アジアでの拡販
	資源開発	：ロス・ガトス亜鉛鉱山の建設
電子材料部門	半導体	：新規LEDの特性向上・ヘルスケア機器向けサンプルワークの拡大
	電子材料	：発電効率の高い新型太陽光パネル向け銀粉の拡販
	機能材料	：次世代アーカイブ用データテープ向け磁性粉の拡販
	新規開発	：家庭用燃料電池向け電極材料の拡販、深紫外LED・近赤外LEDのサンプルワーク拡大
金属加工部門	伸銅品	：自動車の電動化・知能化やIoT需要の拡大を捉えた銅合金の開発・拡販 ：生産性向上や設備増強による増産、中国・タイ・台湾拠点を活用したアジアでの拡販
	めっき	：新設したメキシコ工場の本格稼働、日本・タイのめっきラインの生産性向上
	回路基板	：産業機械向けおよび電鉄・車載向け金属-セラミックス基板の拡販
	熱処理	：事業拡大する顧客からの確実な受注、国内外での生産能力増強
熱処理部門	工業炉	：国内を中心に自動車部品メーカー向け需要の取り込み



エコシステム秋田(株)
低濃度PCB廃棄物の処理能力を拡大



ロス・ガトス亜鉛鉱山
2019年夏に操業開始予定



DOWAパワーデバイス(株)
金属-セラミックス基板の新工場

2018年度(2019年3月期)の見通し

2018年度の業績予想については、上期の業績と足元の相場環境などを勘案し、本年10月29日に前回予想を見直しています。その結果、売上高は前年並みの4,550億円、営業利益は前期比65億円減の245億円、経常利益は同63億円減の300億円、親会社株主に帰属する当期純利益は同36億円減の210億円を計画しています。

世界経済の情勢は、中国経済の減速懸念などにより、

先行き不透明な状況にあります。今後も市場動向を見極めながら、顕在化した課題への対応を進めるとともに、「中期計画2020」に織り込んだ成長に向けた諸施策を着実に実行していきます。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年度計画

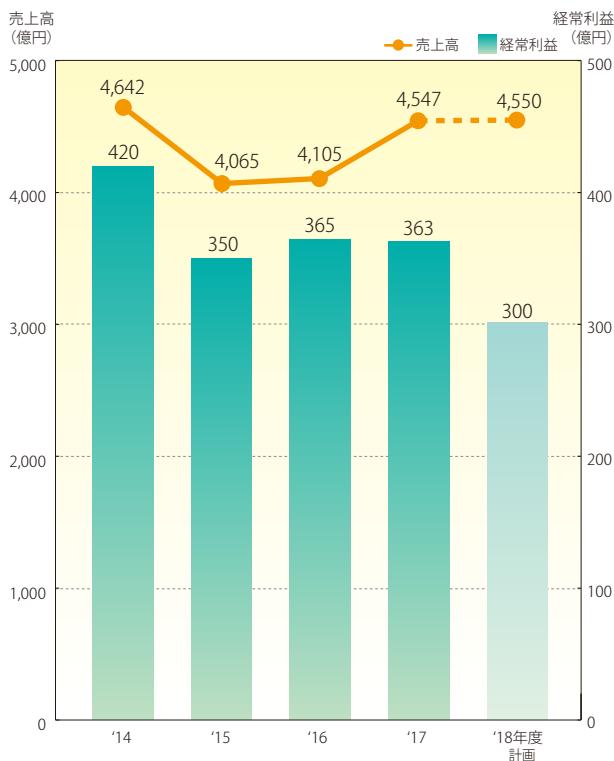
(単位:億円)

	2017年度実績	2018年度計画	増減
売上高	4,547	4,550	3
営業利益	309	245	△65
経常利益	363	300	△63
親会社株主に帰属する当期純利益	246	210	△36

相場前提、金属価格

	2017年度		2018年度	
	上期実績	通期実績	上期実績	下期前提
為替 (¥/\$)	111.1	110.9	110.3	110.0
銅 (\$/t)	6,005	6,444	6,487	6,200
亜鉛 (\$/t)	2,780	3,054	2,824	2,600

これまでの業績推移と2018年度の計画



❑ DOWAの半導体事業 ～次世代LEDチップの開発～

●半導体事業の始まり

当社の小坂鉱山で産出していた黒鉱にはガリウムが含まれていました。ガリウムは、特定の元素と合成することで半導体となり、さらには“光る”という特長をもっています。

当社は、今日に至る情報化社会への進展を予見し、また、貴重な資源を有効活用するという考えのもと、1980年頃より、半導体材料としてガリウムの加工を開始しました。現在では、高純度ガリウム、化合物半導体ウェハ、LEDチップなどを製造しています。



小坂鉱山(1900年頃)



黒鉱

●LEDチップの用途

当社の半導体事業は、LEDチップの拡販に注力しています。当社のLEDチップは、高出力・高信頼性という特長があり、照明用ではなく、様々な電子機器のセンサに幅広く採用されています。

具体的には、スマートフォンの省エネ機能として、顔を近づけるとディスプレイのバックライトを消すためのセンサ、血液中の酸素濃度を測定する医療機器のセンサ、ウェアラブル端末内部の各種センサなどに使われています。



スマートフォン向けセンサ
(近接センサ)



血液中の酸素濃度を
測定する医療機器

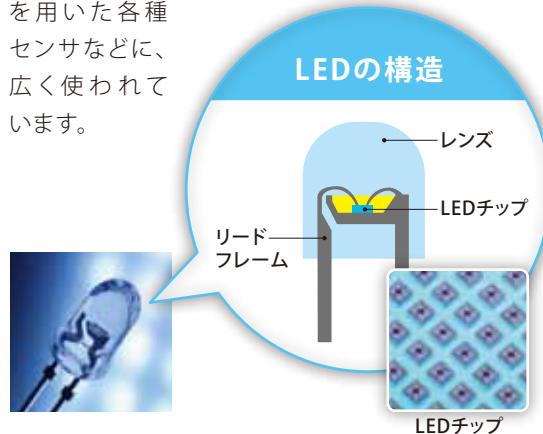


ウェアラブル端末

LEDとは

LEDは、Light Emitting Diode(発光ダイオード)の略で、一方方向に電圧を加えたときに発光する半導体素子のことです。赤外線などの目に見えない光を含めて、赤・緑・青など様々な色を発光します。低電圧で発光するため消費電力が少なく、長寿命という特長があります。蛍光灯に代わる照明や光を用いた各種センサなどに、広く使われています。

LEDの構造



LEDチップ

●最新の取り組み

LEDの発する光の種類は、ガリウムに合成する元素と添加する金属の種類・量により変化します。下の図のように、光の種類は波長で決まります。

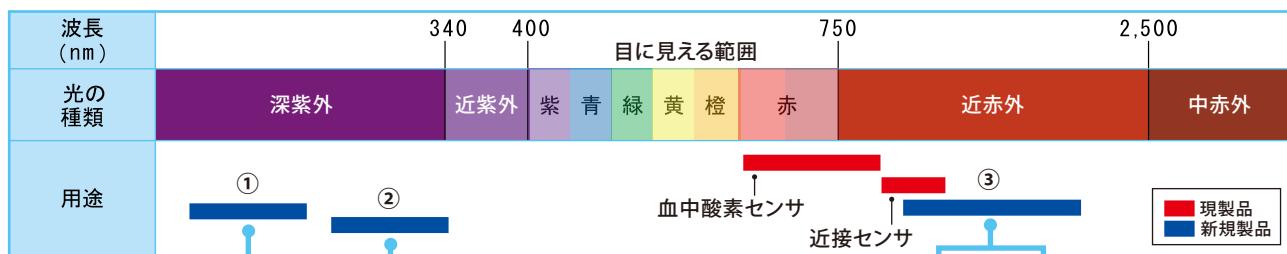
当社は波長を精密にコントロールする技術を保有しており、その技術を活かし、品揃えの強化を進めています。

近年では、深紫外の領域において、殺菌機器向けLEDチップの開発に成功し、一部の家電製品に採用されました

(用途①)。さらに皮膚治療用の医療機器への採用が見込まれています(用途②)。また、近赤外の領域でも農作物や食品の鮮度測定、ヘルスケア機器向けに採血を必要としない血糖値測定の実現などが期待される新たなLEDチップを開発しました(用途③)。

今後も、新たな光センサニーズに対して次世代LEDチップの開発を推し進めていきます。

光の種類と用途



殺菌機能付き掃除機



皮膚の白斑治療機器



鮮度測定センサ



ヘルスケアセンサ

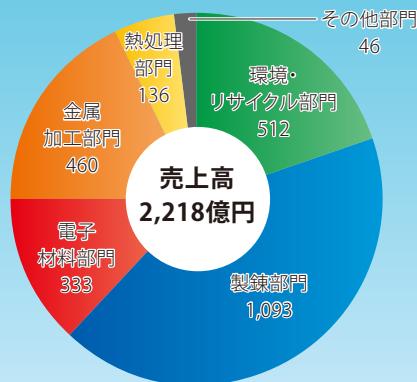


●これからの半導体事業

高純度ガリウム、化合物半導体ウェハ、LEDチップなど多くの製品をもつ半導体材料メーカーとして、さらなる事業拡大を図っていきます。

部門別の営業状況

部門別売上高構成 (2018年度 中間期)



※各部門の売上高には、連結調整による消去分364億円を含んでいます。

凡例 — 通期売上高 — 中間期売上高 — 通期経常利益 — 中間期経常利益

※'18年度の通期は見込です

環境・リサイクル部門

廃棄物処理事業は、国内の廃棄物発生が堅調に推移するなか、廃棄物の処理量は概ね前年同期並みとなりました。土壌浄化事業は、自然由来汚染土壌に適応した浄化法での処理に取り組みました。リサイクル事業は、廃電子基板の集荷量や廃家電の回収量を増加させました。海外事業は、インドネシアにおいて、スポット案件が遅延したことから廃棄物の処理量が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比6%増の512億円、営業利益は同8%増の28億円、経常利益は同10%増の32億円となりました。



家電リサイクル工場

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



製錬部門

貴金属銅事業は、すずなど副産金属の増産に取り組みました。PGM（白金族）事業は、使用済み自動車排ガス浄化触媒の集荷量を増加させました。亜鉛事業は、買鉱条件の悪化や電力単価上昇の影響を受けました。また、持分法適用会社の利益が減少しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比7%増の1,093億円、営業利益は同96%減の1億円、経常利益は同58%減の27億円となりました。



すずのインゴット

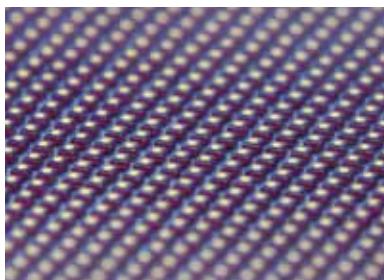
売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



電子材料部門

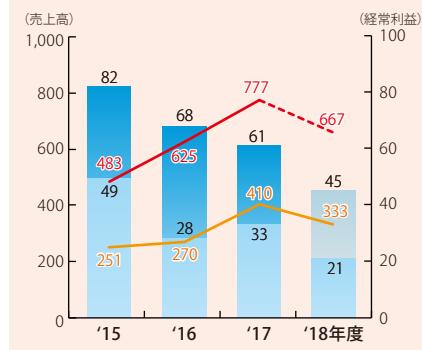
半導体事業は、スマートフォン向けLEDの需要が堅調に推移しました。電子材料事業は、中国での補助金減少の影響を受け、太陽光パネル向け銀粉の需要が減少しました。機能材料事業は、アーカイブ用データテープ向け磁性粉の需要が減少しました。また、各種センサ向けLEDや導電性アトマイズ粉など新規製品の早期事業化に向けて、研究開発費を増加させました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比19%減の333億万円、営業利益は同47%減の16億円、経常利益は同35%減の21億円となりました。



LEDチップ

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



部門別の営業状況

金属加工部門

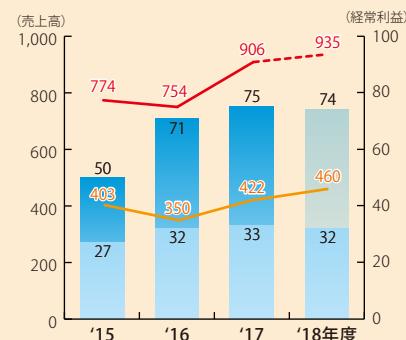
伸銅品事業は、自動車向け、スマートフォン向けともに堅調に推移したものの、銅価格が下落した影響を受けました。めっき事業は、自動車の電装化需要を取り込みました。回路基板事業は、産業機械向けに加えて、電鉄向けや自動車向け製品の拡販を進めました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比9%増の460億円、営業利益は同4%減の31億円、経常利益は同5%減の32億円となりました。



銅合金

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



熱処理部門

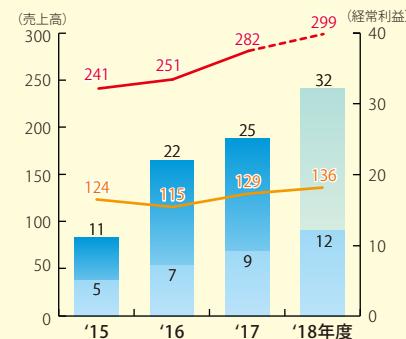
熱処理事業は、堅調な自動車生産を背景に熱処理加工の需要が増加するなか、主に国内において受注を拡大しました。工業炉事業は、メンテナンス受注を拡大しました。

これらの結果、当部門の売上高は前年同期比5%増の136億円、営業利益は同19%増の12億円、経常利益は同28%増の12億円となりました。



熱処理加工品

売上高・経常利益の推移 (単位:億円)



地図で見るDOWAグループ

DOWAエコシステム(株)

- 1 蘇州同和資源综合利用有限公司(中国)
- 2 PT. PRASADHA PAMUNAH LIMBAH INDUSTRI (インドネシア)
- 3 TECHNOCHEM ENVIRONMENTAL COMPLEX PTE. LTD. (シンガポール)
- 4 DOWA ECO-SYSTEM SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
- 5 WASTE MANAGEMENT SIAM LTD. (タイ)
- 6 BANGPOO ENVIRONMENTAL COMPLEX LTD. (タイ)
- 7 EASTERN SEABOARD ENVIRONMENTAL COMPLEX CO., LTD. (タイ)
- 8 GOLDEN DOWA ECO-SYSTEM MYANMAR COMPANY LIMITED (ミャンマー)

DOWAメタルマイン(株)

- 9 バンクーバー事務所(カナダ)
- 10 Cariboo Copper Corporation (カナダ)
- 11 NIPPON PGM AMERICA, INC. (アメリカ)
- 12 メキシコ事務所
- 13 MINERA TIZAPA, S.A. DE C.V. (メキシコ)
- 14 Nippon PGM Europe s.r.o. (チェコ)
- 15 DOWA METALS & MINING (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 16 KEY METAL REFINING, LLC (アメリカ)
- 17 DOWA METALS & MINING AMERICA INC. (アメリカ)



DOWAメタルテック(株)

- 18 同和金属材料(上海)有限公司(中国)
- 19 同和新材料(上海)有限公司(中国)
- 20 DOWA METALTECH (THAILAND) CO., LTD. (タイ)
- 21 Dowa Precision (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 22 シンガポール支店
- 23 同和利精密部品股份有限公司(台湾)
- 24 DOWA METALTECH MEXICO, S.A. de C.V. (メキシコ)

DOWAサーモテック(株)

- 25 DOWA THT AMERICA, INC. (アメリカ)
- 26 昆山同和熱処理工業炉有限公司(中国)
- 27 DOWA Thermotech (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- 28 HIGHTEMP FURNACES LTD. (インド)
- 29 PT. DOWA THERMOTECH INDONESIA (インドネシア)
- 30 PT. DOWA THERMOTECH FURNACES (インドネシア)
- 31 DOWA THERMOTECH MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ)
- 32 DOWA THERMOTECH NORTH CAROLINA, INC. (アメリカ)

その他

- 33 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION (アメリカ)
- 34 DOWA INTERNATIONAL CORPORATION サンノゼ事務所(アメリカ)
- 35 同和企業管理(上海)有限公司(中国)
- 36 同和企業管理(上海)有限公司 深圳分公司(中国)
- 37 DOWA HD Europe GmbH (ドイツ)
- 38 DOWA HOLDINGS (THAILAND) CO., LTD. (タイ)

DOWAエコシステム(株)

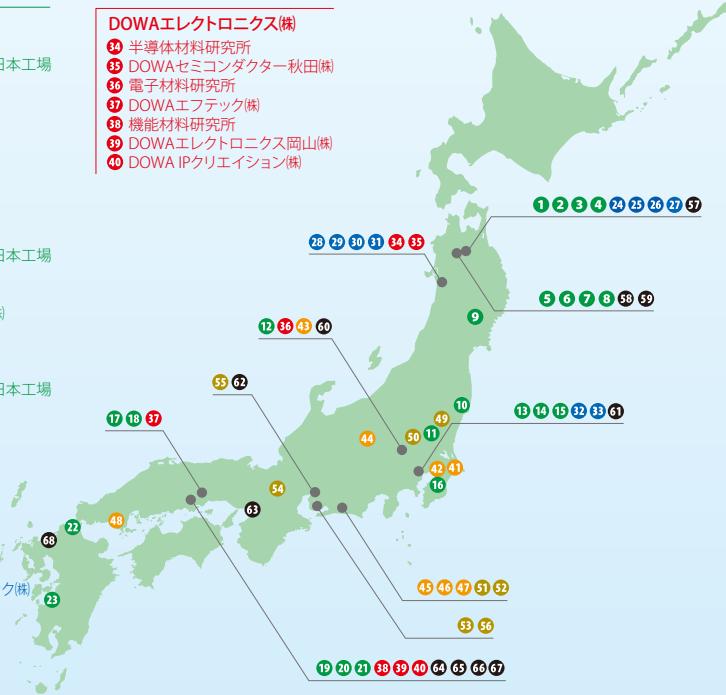
- 1 グリーンフィル小坂(株)
- 2 エコシステムリサイクリング(株) 北日本工場
- 3 エコシステム小坂(株)
- 4 オートリサイクル秋田(株)
- 5 環境技術研究開発センター
- 6 エコシステム秋田(株)
- 7 エコシステム花岡(株)
- 8 株エコリサイクル
- 9 DOWA通運(株)
- 10 メルテックいわき(株)
- 11 メルテック(株)
- 12 エコシステムリサイクリング(株) 東日本工場
- 13 エコシステムジャパン(株)
- 14 ジオテクノス(株)
- 15 イー・アンド・イー ソリューションズ(株)
- 16 エコシステム千葉(株)
- 17 エコシステム山陽(株)
- 18 岡山鉱油(株)
- 19 エコシステムリサイクリング(株) 西日本工場
- 20 エコシステム岡山(株)
- 21 バイオディーゼル岡山(株)
- 22 光和精鉱(株)
- 23 アクトビーリサイクリング(株)

DOWAメタルマイン(株)

- 24 製錬技術研究所
- 25 小坂製錬(株)
- 26 株日本ピージーエム
- 27 秋田リサイクル・アンド・ファインパック(株)
- 28 秋田製錬(株)
- 29 秋田ジンクリソリューションズ(株)
- 30 秋田レアメタル(株)
- 31 秋田ジンクリサイクリング(株)
- 32 株アシッズ
- 33 ジンクエクセル(株)

DOWAエレクトロニクス(株)

- 34 半導体材料研究所
- 35 DOWAセミコンダクター秋田(株)
- 36 電子材料研究所
- 37 DOWAエフテック(株)
- 38 機能材料研究所
- 39 DOWAエレクトロニクス岡山(株)
- 40 DOWA IPクリエイション(株)



DOWAメタルテック(株)

- 41 新日本プラス(株)
- 42 豊栄商事(株)
- 43 DOWAハイテック(株)
- 44 DOWAパワーデバイス(株)
- 45 技術センター
- 46 DOWAメタル(株)
- 47 DOWAメタニクス(株)
- 48 TDパワーマテリアル(株)

DOWAサーモテック(株)

- 49 DOWAサーモエンジニアリング(株) 真岡工場
- 50 DOWAサーモエンジニアリング(株) 太田工場
- 51 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松工場
- 52 DOWAサーモエンジニアリング(株) 浜松北工場
- 53 DOWAサーモエンジニアリング(株) 中京半田工場
- 54 DOWAサーモエンジニアリング(株) 滋賀工場
- 55 株セム
- 56 東熱興産(株)

その他

- 57 DOWAテクノロジーサーチ(株)
- 58 卯根倉鉱業(株)
- 59 秋田工管(株)
- 60 DOWAテクノロジー(株) 関東テクノセンター
- 61 本社
- 62 DOWAグループ名古屋支店
- 63 DOWAグループ大阪支店
- 64 DOWAテクノロジー(株) 西部テクノセンター
- 65 DOWAテクノロジー(株)
- 66 陽和工管(株)
- 67 DOWA興産(株)
- 68 DOWAグループ九州支店

連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2017年度 2018.3.31	2018年度 中間期 2018.9.30	比較増減
資産の部			
流動資産	228,334	230,164	1,829
現金及び預金	16,935	19,380	2,445
受取手形及び売掛金	87,615	81,233	△6,382
たな卸資産	106,341	113,793	7,452
その他流動資産	17,442	15,756	△1,686
固定資産	228,196	242,441	14,245
有形固定資産	124,324	130,974	6,649
無形固定資産	9,010	8,299	△710
投資その他の資産	94,860	103,168	8,307
資産合計	456,530	472,606	16,075

流動資産のポイント

原材料及び貯蔵品が94億円、現金及び預金が24億円増加した一方で、受取手形及び売掛金が63億円、商品及び製品が33億円減少したことなどにより、前連結会計年度末比18億円の増加となりました。

固定資産のポイント

長期貸付金が83億円、有形固定資産が66億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比142億円の増加となりました。

総資産のポイント

以上の結果、前連結会計年度末比160億円の資産増加となりました。

(単位:百万円)

科目	2017年度 2018.3.31	2018年度 中間期 2018.9.30	比較増減
負債の部			
流動負債	142,800	144,413	1,612
支払手形及び買掛金	37,338	33,773	△3,565
短期借入金	44,402	38,004	△6,397
コマーシャル・ペーパー	25,000	32,000	7,000
その他流動負債	36,059	40,635	4,575
固定負債	65,967	82,532	16,565
社債	10,000	20,000	10,000
長期借入金	30,424	37,310	6,886
その他固定負債	25,542	25,221	△321
負債合計	208,767	226,945	18,177
純資産の部			
株主資本	221,980	224,221	2,241
資本金	36,437	36,437	—
資本剰余金	26,222	26,044	△178
利益剰余金	165,029	167,449	2,420
自己株式	△5,708	△5,709	△0
その他の包括利益累計額	16,835	12,719	△4,115
非支配株主持分	8,946	8,718	△228
純資産合計	247,762	245,660	△2,102
負債及び純資産合計	456,530	472,606	16,075

負債のポイント

有利子負債が174億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比181億円の増加となりました。

純資産のポイント

親会社株主に帰属する四半期純利益を88億円計上し、配当金の支払いなどを行った結果、株主資本が22億円増加しました。この結果、自己資本比率は50.1%となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2017年度 中間期 2017.4.1~ 2017.9.30	2018年度 中間期 2018.4.1~ 2018.9.30	比較増減
売上高	219,302	221,828	2,525
売上原価	187,084	193,447	6,362
売上総利益	32,217	28,380	△3,837
販売費及び一般管理費	17,545	19,012	1,467
営業利益	14,672	9,367	△5,304
営業外収益	3,504	4,826	1,322
営業外費用	918	1,345	427
経常利益	17,258	12,848	△4,409
特別利益	142	416	274
特別損失	382	604	221
税金等調整前四半期純利益	17,018	12,660	△4,357
法人税等	5,029	3,995	△1,033
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	255	△224	△480
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,733	8,889	△2,843

損益計算書のポイント

売上高は前年同期比25億円増の2,218億円、営業利益は同53億円減の93億円、経常利益は同44億円減の128億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同28億円減の88億円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2017年度 中間期 2017.4.1~ 2017.9.30	2018年度 中間期 2018.4.1~ 2018.9.30	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	416	15,465	15,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,249	△21,543	△9,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,191	7,897	△1,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△15	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,681	1,803	4,485
現金及び現金同等物の期首残高	15,126	16,472	1,346
新連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	257	112	△144
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,702	18,389	5,686

営業活動によるキャッシュ・フローのポイント

税金等調整前四半期純利益が126億円、減価償却費が87億円となった一方で、たな卸資産が74億円増加したことなどにより、154億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローのポイント

主に有形固定資産の取得による支出110億円、貸付による支出81億円などにより、215億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローのポイント

有利子負債の借入137億円と配当金の支払い56億円などにより、78億円の収入となりました。

取締役・監査役



代表取締役会長

山田 政雄



代表取締役社長

関口 明



取締役

光根 裕



取締役

松下 克治



取締役

加賀谷 進



取締役

川口 純



社外取締役

細田 衛士



社外取締役

小泉 淑子



監査役(常勤)

雪竹 克也



社外監査役(常勤)

小林 英文



社外監査役

武田 仁



社外監査役

中曽根 一夫

執行役員



執行役員
DOWAエコシステム(株)
代表取締役社長

飛田 実



執行役員
DOWAメタルマイン(株)
代表取締役社長

須山 俊明



執行役員
DOWAエレクトロニクス(株)
代表取締役社長

鈴木 浩二



執行役員
DOWAメタルテック(株)
代表取締役社長

菅原 章



執行役員
DOWAサーモテック(株)
代表取締役社長

辻 隆治



執行役員
DOWAテクノロジー(株)
代表取締役社長

山田 潔



執行役員
DOWAマネジメントサービス(株)
代表取締役社長

若林 英一

株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
基 準 日	3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告した日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
公 告 方 法	電子公告 (http://www.dowa.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
株 主 名 簿 管 理 人 および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
(郵 便 物 送 付 先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電 話 照 会 先)	0120-782-031 (フリーダイヤル)
(ホームページアドレス)	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

DOWAホールディングス株式会社

〒101-0021

東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX22階

電話番号 03-6847-1100

ホームページアドレス <http://www.dowa.co.jp>

表紙写真：メルテックいわき㈱の社員

